

上五島構想区域の状況（平成30年度）

具体的対応方針

1 役割（・・特に地域において担うべき役割、・・・地域において担うべき役割）

		がん	脳卒中	心疾患疾病		糖尿病	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	議論の状況
				急性期	回復期								
長崎県 上五島病院	2018												協議済
	2025												

2 病床数（2017年・・平成29年度病床機能報告(平成29年7月1日時点)、2025年・・公的医療機関等2025プラン）

		合計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	介護等	議論の状況
		長崎県 上五島病院	2017	182		132		50	
	2025	182		132	40	10			

【共通項目】

構想区域内の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、毎年、地域医療構想調整会議において協議を行い、必要に応じて見直しを行う。

病院名	自施設の現状	自施設の課題	今後の方針	具体的な計画 (4機能の病床のあり方) 【一般病床+療養病床】				
			地域において今後担うべき役割	H28報告		2025		
長崎県 上五島病院	上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、回復期、慢性期を提供 5疾病・5事業のうち、がん医療、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、一般救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療を提供 院内での対応が難しい患者については、自衛隊ヘリやドクターヘリなどによって本土の病院へ搬送するシステムを確立 在宅医療については、訪問看護ステーションを併設。地域医療連携室を中心とした在宅医療を提供。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けた、行政、他医療機関、介護施設等との連携及び在宅医療の支援 ・DPC導入による医療の質の向上、経営の効率化 ・看護師をはじめとする医療従事者の高齢化等を踏まえ、医療技術修学資金貸与制度等による、計画的な確保を図る必要 	上五島地区には入院機能を有する病院が当院しかなく、急性期から慢性期まで全ての医療を提供 地域包括ケアシステム構築に向けた、行政、他医療機関、介護施設等との連携体制の構築 療養病床（10床）については、医療需要や後方支援施設等の整備状況を踏まえて検討 当面は現状の病床数が必要。今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討必要	高度	-	病床機能変更	高度	-
				急性	132		急性	132
				回復	36		回復	40
				慢性	14		慢性	10